

令和2年10月25日(日) 9:00~12:30

<開会>9:00~

生涯学習課菊池

皆様、おはようございます。ご案内の時間になりましたので、進めさせていただきたいと思います。本日も図書館ワークショップ、みんなではなそう未来の図書館、一般編ということでご参加をいただきまして、大変ありがとうございます。今回で早いものですが、最終回ということになります。第5回目の開催になります。前回第4回は、テーマに「作ってみようみんなの図書館①」ということで、第3回で出された重点からサービス計画を考えるという作業を行っていただきました。さて、今回は第5回ですが、同じテーマなんです。「作ってみようみんなの図書館②」ということで、図書館をつくる場所についてワークショップを行っていきます。本日も皆さんで愛着を持って利用してもらえ、そんな図書館を考えていきましょうということを始めたいと思います。まずは開催に先立ちまして、花巻市生涯学習部長の市川よりご挨拶いたします。

生涯学習部長

皆さんおはようございます。今日もですね、天気が悪い中たくさんご出席を賜りまして、大変ありがとうございます。今日で5回目ということでございまして、今回は建設場所も含めてですね、これまで皆様方でこういう図書館が欲しいっていうのを検討していただきました。その中で建設場所も含めて、検討してもらってその意見をいただきたい。1か所に決めて、ということではありません。我々の考えてきた資料につきましては、全て公表するという考えでたくさんの資料になりましたけど、送らせていただきました。それも後ほどご説明したいと思います。私たち考えた意見も踏まえながらですね、皆さんのご意見、アイデアをまとめていただければと考えております。今日も短い時間になってしまいますけども、ぜひいい図書館をつくるために、皆さんからご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

生涯学習課菊池

はい。ありがとうございます。それから本日もアドバイザーとして、富士大学の早川先生にお越しをいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。それから、今日も進行は生涯学習課の私、菊池が行います。よろしくお願いいたします。それから本日のタイムスケジュールということですが、スクリーンのほうにも表示しておりますが、この後先ほど言いました場所についての説明を行っていきたくと思います。今日のワークショップは大きく分けて前半が説明、そして後半がワークショップという形になってまいります。説明会をしまして若干休憩は挟んで10時くらいからワークショップのほうに入るという感じで、移らせていただければなと思っております。ワークショップ中も途中、自由休憩を含めまして進めていきたくと思います。11時半くらいからまとめの発表をできればいいのかな

というふうに考えておりました、最後講評いただいて、事務連絡、解散という流れで、今日は進めていきたいというふうに思っております。およそこの時間配分でいくわけなんです、また押すということもあるかもしれませんので、その場合には都合により抜けられるというのは構わないので抜けていただいてもオーケーです。それから今日もこの会場内、ビデオ撮影だったり、デジカメで撮影をしておりますので、写りたくないという人がおりましたら言っていただければと思います。それからこれも毎回なんです、この会場ですけども、コロナ対策のため定員内での利用としておりますし、常時入り口をあけて換気ということを行っていきたくと思います。皆様にはしっかりとマスクの着用をお願いいたします。それからあと皆様には各自水分補給等していただきまして、進めていただきたいと思っておりますし、今日もですね、受付のすぐ脇のところ、前回のグラフィックレコードと呼ばれるものですけども、前回行った内容を簡略化して書いたものを貼ってございますし、それから今日花巻図書館のほうから、図書館建設の参考になる本を持ってきていただきまして、本も一緒に展示しておりますので、休みの合間などに見ていただければというふうに思います。今日貸出しは出来ないんですが、見ていただくだけになりますので、借りたいという場合にはぜひ図書館に来ていただければと思います。それでは早速なんです、説明のほうに移っていきたくというふうに思います。前回の第4回にも申し上げましたが、今回の第5回につきましては、皆さんで図書館をつくる場所について考えてもらいたいということに触れておりました、その前提として前回までの作業として詳しいサービス計画を考えていただいたということになります。今回は、皆さんで考えたサービス計画を実現するために、図書館がどこにあれば、その機能を発揮するのかといったところにもつなげるために、建設場所を含め皆さんで望ましい図書館を検討してもらいたいというふうに思います。まずはそのために、花巻市でこれまで検討してきた建設場所などについて、最初20分程度になります、説明させていただきます、後半は質問とかご意見をいただくという内容の時間としたいと思います。それから、資料ですけども、今回皆さんのお手元に事前に郵送でお送りしたんですが、お手元に3点ほど準備していただきたいなと思います。まず1つ目がスライドの資料になります。4ページまである「花巻図書館建設場所の検討」と書かれているもの。次がA3判の資料で「新花巻図書館建設地別説明資料(総合花巻病院跡地)」と書かれている、10枚つづりになっているものが1つ。最後ですけども、A3判の1枚もので、「新花巻図書館複合施設整備事業構想」と書かれているものです。皆さんお手元にありますか。大丈夫ですね。ありがとうございます。それでは早速ですけども、説明のほうに移らせていただきます。部長の市川よりご説明いたします。

<生涯学習部長より説明>

それでは失礼ですが座って説明させていただきます。まず「新花巻図書館建設場所の検討」というA4判横の資料でございます。1枚めくっていただいて、前提と書いてますが、これは図書館ワークショップ

プ一般編の 2 回目でもお話をしたものでございますが、花巻駅東口周辺及びまなび学園周辺の 5 か所を市としては検討してきた経緯があります、というのをお話しました。まなび学園周辺では、1 番営林署跡地、2 番まなび学園前、3 番が総合花巻病院の跡地、もう 1 か所花巻駅周辺として、J R用地、スポーツ用品店があるところです。5 番として、花巻駅南駐車場なはんプラザの東側を候補地として検討してきました。次のページですが、これもご説明をしておりましたが、都市機能誘導区域、青い区域ですね。青で囲まれた花巻駅から新しい花巻病院が建ってる場所にあたりまでの旧市街地です。この区域が都市機能誘導区域というものでございまして、ここの中に建てたい。なぜならば、国の補助金が入るのは、この区域に建設した場合ですということもご説明いたしました。次のページです。背景の続きですが、これまで花巻市立地適正化計画、これが都市機能誘導区域というものを定めた計画です。平成 28 年 6 月です。この段階では、花巻図書館を生涯学園都市会館周辺への移転はどうだろうかというふうに書いている計画です。次に新花巻図書館の整備基本構想というのを定めました。これは 29 年 8 月ですが、この段階で建設場所は都市機能誘導区域に整備したいと定めたものでありました。次 3 番です。花巻市図書館複合施設等整備方針検討業務というのを、委託して行っております。これが 30 年 6 月ですが、その中で事業候補地の抽出として、都市機能誘導区域内にある程度まとまった土地の確保としてあげているのが、花巻駅東口周辺及びまなび学園周辺というふうに進めてきたというものでございます。先ほど来申しておりました 3 ページですが、都市機能誘導区域に建設した場合には、国の定めに基づきまして、都市再生整備計画というものを提出すれば最大で 10 億 5000 万円の補助が可能というものです。この区域に立てばということですが、そのような観点から都市機能誘導区域での建設を考えているというものでございます。

次に A3 の図面で具体的に検討してきた候補地をご説明いたします。まず総合花巻病院跡地でございます。建物を建てるのであれば右の上の方、つまり病院の跡地の奥の方に、2268 平米と想定しています。これは、病院の建物前の方といいますか、南側の建物は地下に構造物があり、これを撤去すると窪地になる可能性があります。南側に建物を建てるのは少し難しい状況になっておりまして、この図面でいうと奥の方であれば平面として 2268 平米のものは建てられるのではないかと想定したものです。この 2268 平米っていうのは、これまでご説明いたしました全体の図書館の床面積が 4500 平米と仮定しています。その 4500 平米を 2 階建てで建てたいということから、このような位置を考えているものでございます。そうしますと駐車台数は、今の病院の南側のところに 152 台。土を盛るような構造になるんですが、土を盛っても経年で沈んできたりする可能性もあるんですが、駐車場であれば対応できるかなということで、この図面を書いたものでございます。左側には細かく駅までの距離や施設概要、駐車台数等があります。下には仮の工程を書いておりまして、この場所ですと、解体や造成も入りますので、開館見込み時期は令和 9 年 4 月と想定しているものでございます。あと特記事項として、解体後の整地とかですね、後ほどお話ししますが、道路の関係。2 回目のワークショップでもお話ししました、まなび学園周辺の場合道路に少し課題があると。その部分を後ほどお話しします。あと市道、旧南高校の入り口に松並木がありまして、ここの道路ちょっと狭いんですね、ここに歩道をつくったりするには松の伐採をしなければいけないというのがございます。

次に 2 ページ目です。これはまなび学園の体育館の場所と営林署跡地にかけてつくった場合でございます。これは体育館を壊して、2250 平米、つまり 4500 平米をのものを 2 階でつくるスペースを考えると、このような感じになるのではないかとというものです。花巻病院の跡地を全て駐車場にしてという想定で

ございます。これですと期間的には、開館見込みが令和 8 年 4 月、病院よりも 1 年早いというものでございます。

次はですね、営林署跡地の駐車場に体育館を壊さずに建てる案を 2 つ挙げております。①の方は、駐車場の場所にですね、南側に合同庁舎に登る道路があるんですね。掘り割りというところ、この図面ですと市道吹張・坂本町線という右に真っすぐ書いてる道路があります。そこから合同庁舎とかまなび学園に上がって道路があります。市道花城町北線と書いてます。この北線を埋めてしまって図書館を建ててはどうだという案です。ただしこの道路を埋めてしまうものですから、上に上がる道路がなくなるんですね。その上に上がる道路は新しい道路をですね、新設道路とあります花城町北線代替と書いてる道路を南側につくるという案です。ただ掘り割り部分、市道吹張坂本町線というところは、崖地になるものですから、いわゆる擁壁というものをつくらなければいけない。それがこのグレーに塗ってある部分で、そこに新しく擁壁をつくって建物をつくるっていう案です。ただ特記で書いてますけども、交差点が A B C とありますが、少し複雑になって危ないんじゃないかと感じております。これも工期は少しかかりまして、これですと開館は令和 10 年というものでございます。この交差点などの課題もあるものですから、次の②番は少し横に広げてつくって新しい道路はつくらずに、擁壁を補強しながらやるという案でございます。これですと 2268 平米。これでも 2 階建でできるのではないかというのですが、かなり市道吹張花城町線ぎりぎりでございます、これもオープンは 10 年 4 月になるという予定でございます。

次がまなび学園の前に建てるというものでございまして、まなび学園の今の駐車場と芝生のところに建てる場合ですと、令和 8 年 4 月にはオープンできます。駐車場としては今の駐車場に建てるものですから、病院の跡地を全面的に駐車場にして使うという案でございます。

そして 1 枚めくっていただいております、これはまなび学園に図書館を建てた場合にですね、まなび学園は今長寿命化ということでいろいろ修理をしております、あと 20 年程度は使えるという見込みです。ただし、その段階でまなび学園と体育館を壊してしまうということになろうかと思うんですが、そのときに図書館をこの場所に建てたとすると、このような状況になりまして、またこの利用を考えなければいけないと図面を検討した経緯がありまして、それも参考としてお示しをしているというものでございます。

次に駅前です。駅前につきましてはまず J R 用地、スポーツ用品店の敷地です。この場所ですとなはんプラザの北側に 2 階建でつくりたい、2268 平米とって、駐車場は立体でなはんプラザの南側の駐車場を立体にすると。なはんプラザの東にある駐車場はそのまま平面で残すという案でございます。これですと令和 8 年 4 月に開館できるのではないかというものです。

もう 1 つは花巻駅南駐車場北って書いてますが、なはんプラザ東横の駐車場、この駐車場に建てる場合です。少し狭くてこの大きさですと一部 3 階建かなと考えております。ただしここですと、この駐車場が立体でつくる駐車場だけというふうになってしまうというのを想定しております、そのような状況になっております。

次に道路についての図面が 2 つございますので、少しご説明をいたします。まなび学園周辺の用地的場合、道路に少し課題がありますとお話ししておりました。それについてです。都市計画道路の城内大通り線、この万代橋っていう橋からですね、合同庁舎への直線道路が都市計画の道路であります。まだない道路です。ただこれを整備するには新しい橋や交差点の改良などの整備が必要になること、前後の道路

勾配などの課題がありまして、事業費も膨大になり現実的ではないという状況があります。もしまなび学園周辺に図書館をつくったときにですね、課題になるのは幸橋周辺、駅からの徒歩や自転車の課題あるわけですが、そのためには現在の市道城内大通り一丁目線、大通りのコンビニから幸橋という橋を渡って合同庁舎へ行く道路です。今歩道はありませんが、歩道を整備する方法が現実的かと思います。その整備について約8年の期間が見込まれます。図書館が出来てから、道路が後からできる形になるかもしれないというものでございます。2ページ目は詳しく書いている資料で、先ほど申しました勾配や交差点が複雑になるという内容ですので、省略をいたします。

次にですね、新花巻図書館複合施設整備事業構想、今年の1月29日にお示しした資料についてご説明いたします。これは1月29日に市議会の皆様に公表をしたときの資料そのものでございます。JRの用地、スポーツ用品店の敷地を50年間借りて、新しい図書館と複合施設を建設するという構想です。市が出資するまちづくり会社とSPCと書いていますが、特定目的会社による公民連携事業です。賃貸住宅やテナント床を有する複合施設で、広場との整備と南駐車場の立体駐車場化もしたいという構想でありました。この構想については、賃貸住宅の入居者やテナントどれだけ入る可能性があるかなど調査が必要だったところです。建物は、先ほど申したSPCという特定目的会社が建設し、図書館部分は市が所有するもので、賃貸住宅等は特定目的会社SPCが所有するという計画でした。SPCが所有する部分のお金は大部分をSPCが花巻市の保証なしで金融機関から借りることを想定しています。その資金調達方法とかですね、事業の具体化、そして先ほど申した入居者があるのか、テナントもどのようなものが入る可能性があるのか、というところは外部の専門家をお願いして、調査する必要があったものでございます。ただし、この構想につきましては反対のご意見が多数ありまして、調査のための予算というのは計上していません。よって、具体は全く決まっていなくてございます。市としてはですね、市民の皆様の理解が得られないという場合には、この賃貸住宅等の併設については見直しも考えているというものでございます。そのような状況でございまして、JRとしては駅前のこの用地についてですね、50年間貸しますよという意向を示してはいますが、市が駅前に図書館を建設する方針が固まらない場合には具体的には協議は出来ないという考えを示されています。市としてはですね、市民の皆さんがそもそもJRの用地に建設することについて、反対が多いという場合には具体的な協議には入れないと考えてます。JR用地について検討する場合ですね、その用地の場所自体に反対か、50年の定期借地が問題で50年以上使えるという条件があればいいのか、土地を借りることに反対なのか、あるいは土地を購入するのであればいいのか、JRの土地にこだわったわけではありませんが、それらも含めて今日ご意見をいただければありがたいと思っております。いずれ、まなび学園周辺については先ほど申したような道路等の課題はございますが、建物が出来てからちょっと遅れる可能性はあります。ただ、そのような点もございまして、まなび学園前であればですね、先ほど来た周りの建物がなくなった場合にどう活用していくかということも、検討しなければいけないというのもあります。そういうあたりも考えていただいて、我々今まで考えてきた資料を全てお示ししているという状況ですが、柔軟に考えていただいて構いません。この区域じゃなくて、また違うところがいいと。ただ、それですと補助金が出ないっていう可能性が高いということもありますし、そのようなアイデアを含めて、1つにまとまらない場合は1つじゃなくても構いません。今回、こういうもの、ああいうもの、こっちだったらどうだ、というような皆さんからの柔軟なアイデアをいただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。以上で説明は終わります。

生涯学習課菊池

ありがとうございました。説明は以上となります。ここからは、ご意見いただいたり、ご質問をいただいたりという時間にしたいと思います。どなたかご質問ある方、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

参加者 1

何点か質問させていただきます。頭が混乱して何が何だかわからないので質問の要点が定まらないかと思えますけれども、2、3具体的に聞きますけれども、1月29日の事業構想案、結構戸惑ってると思います。私も戸惑ってますけれども、その中で、まずオープンですね。1月29日のスケジュールによると、2023年、令和5年に完成するとなっておりますけれども、今日の新資料によるとオープンが2028年、令和8年で3年間ずれているわけです。この辺のずれはどういう理由なのか。それから今日の示された新資料によると図書館の規模が2階建となっておりますけれども、1月29日に提案された賃貸住宅を上に乗っけるというのは、新資料ではその賃貸はつくらないという意味で資料が示されたのでしょうか。まずそのスケジュールオープンのスケジュールのあたりから、お尋ねします。

生涯学習部長

スケジュールにつきましては、元年度の後半から構想具体化をしていきたいというものでありましたが、既にそれは調査も含めて遅れているというか、ご理解をいただいてない部分がございます。設計施工につきましては、これはSPCという特定目的会社に工事をしてもらって、それを花巻市が買い取るという形等を考えていたので、このような期間の案でございました。そのような特定目的会社で建設するのではなく、今日お示ししたものは、一般的な市が仕様発注するというやり方で工事をした場合の時間に全て統一してるので、このような期間というふうになっております。もう一つ、賃貸住宅につきましては、今日お出ししたものににつきましては想定してなくて、図書館だけで2階建というふうに全て統一したものでございます。

参加者 1

わかりました。次にですね、今のオープンのスケジュールもそうですけれどもそれに伴って基本計画の策定とか決定の時期も大幅にずれてるようです。例えば、10月1日の広報によるとですね、計画策定決定が2021年、来々令和3年の4月末となっておりますけれども、今日の資料見たら同じような計画策定決定が令和3年7月以降に延びてるようですけど、計画ですからずれるのはあると思うんですけども、ずるずるずれてるというのは、大きな原因は何なんですか。

生涯学習部長

基本計画の素案をつくってそれを市民からご意見を聞いたりですね、パブリックコメントをしたり、図書館協議会、そのほかの団体等からも聞きたいと思っておりますが、それで4月に策定をするというような計画で広報には掲載しました。その中で、現段階で皆さんのご意見をもっと聞いたほうがいいのではない

か、ということも多くなっておりまして、少し延びる可能性があるということは議会等にもお話をしておりまして、今回は7月と設定しているものでございます。

参加者 1

わかりました。それとですね、突如大量の資料を見せられても、すぐには理解出来ない。かなり迷走状態、図書館問題そのものが迷走してるなと思いますけれども、この前ホームページ見ますと、議会側に示されたですね、仮にここに市の庁舎を移転するならばという図面がですね数字つきで示されてるわけですけども、その数日後に図面がですね、突然ホームページから消えると、削除されるということがあって何が何だかわけがわからないんですね、市民は。この迷走を繰り返している最大の原因は何なんですか。

生涯学習部長

迷走をしてるという認識はないんですけども、いろいろ資料を出しながら、議会の皆様にもご説明をした中で、これはどうなんだというご意見もいただいております、今回皆さんに示す資料では入れていないというものでございます。最大の原因は、と言われますといろいろ我々の至らないところもあろうかと思っておりますけども、きちんと資料あるいは考えてきたことを皆さんにお示しして、ご意見をいただきながら進めていきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいというふうに思います。

参加者 1

1人で何回もすみませんけれども、迷走してないというんですけど、市民の側にとっちゃ何が何だかわからん部分が多いんですね。そういうことで今後整理してほしいんですけども。一つ最後にこの本庁舎まなび学園移転案をそもそも議会の委員会に示した意図というのは、いわゆる建物の規模感を察していただくというふうな説明ですけどそれはどうもですね、いきなりこういう案が出てくる唐突感があって混乱しました、市民も議会も。どういう意図で出されたのかももう一度教えてください。

生涯学習部長

まなび学園の前に市役所の本庁舎を仮に建てたとすればというような図面をお示したんですね、市議会の皆さんに。ただこれは市議会の一般質問で、市役所をここに建てたらどうだっというような質問もいただいているところであります、ここが一団の土地として、やはり市街地の中心のいい場所でもありますので、我々はそういうことも考えていました。仮に建てた場合これぐらいの規模になりますよというのを、やはり考えてたものは、皆様方にお示しして、議論いただきたいというような趣旨でございましたので、ご理解いただきたいと思っております。

参加者 1

そこはね。つまりそういうことならばですね、ずっとですね、ホームページからそれぞれ削除する必要はないですよ。出たものが数日後になくなるってこと

になると混乱するんですよ。だからそこは一貫してね、以前からそういうことを想定してたということを堂々と言えば、政策立案としてですね整合性がとれると思うんです。その辺で混乱してると思うんだよね。

生涯学習部長

削除はしておりません。ホームページには残っておりますので、15日に市議会に説明したものですので、そのページには残っておりますので、ご覧いただければと思います。

参加者 2

延床面積なんですけど4500平米で計算してまして、現状の花巻図書館が1300平米ですから、3.5倍ぐらいなんですけど、その根拠を教えてくださいたいと思います。ざっとネットとかで簡単に概算で計算したら、花巻地域7万人の人口で計算したら大体3600平米ぐらい。花巻全体10万人と計算したら大体4600は簡単に出たんですけど、その根拠を教えてくださいたいということとあと、3階建てだとまずいのかな。3階建てだと景観とか建築法上まずいのかなと、その2つお願いします。

生涯学習部長

はい。これまで検討した経緯でですね、平成26年に花巻中央図書館整備計画というのがありまして、今の総合花巻病院が建った場所につくるという計画がありました。そのときの図書館部分が4300~4600平米という計画を前の段階で、これもワークショップを開いて、パブリックコメント等もとってできていた計画がございます。それを踏まえておりますし、1番最近の一関市の図書館が4700平米ぐらいなので、それに近いぐらい。4500と決めてるわけではありませんが、大きさを想定した場合は、約それぐらいかなっていうものでございます。あと、2階建てというのはですね、図書館はできるだけ平面、ワンフロアが広いほうが使いやすいだろうという意見はいただいておりますし、当然それが5階6階だとわかりづらいわけで、できればフロア面積、本を置いてるエリアをワンフロアにしたいという観点から、2階でできるのであれば2階がいいのではないかというものです。あるいは収蔵庫を3階に上げるとかですね、そういうことはできるかなと思いますが。全て公平に見たときに2階建て4500取れるとすればこんな場所ということをお考えたものでございます。

参加者 3

駅前の交渉の方では、SPCによるPPPっていう案がセットで出てきてるんですけども、これは場所じゃなくて運営方式だと思うんで、もしまなび学園の方につくっても、PPPという手法を採用する可能性は考えられるんですよ。駅前と公民連携がセットになっている理由とか、何かその辺、メリットとかそういうのをお聞かせください。

生涯学習部長

1月29日の構想を出した段階ではですね、やはりまちづくりの観点から住宅

を乗せようという計画でありました。つまり人口を維持するといいますか、まちなか活性化等の観点から、駅前に住宅があれば活性化が図れるんじゃないかということ、またこの駅前の場所というのはなかなか狭くてですね、そういう観点もございましたし、活性化を図るために、民間が建ててくれるという動きがあればいいんですが、なかなかそういうのもございません。まちなかですと今、上町に住宅をつくりましたけども、その応募者数も多いというような状況もございましたので、やはり民間と協力して建てられるとすれば、このような方法はどうかというような提案でございました。

参加者 3 まなび学園の方でも、この民間と一緒にということができる可能性はあるわけですよ。

生涯学習部長 まなび学園の方でも民間とやれる可能性はあると思います。ただそこは調査しておりません。

参加者 3 今回ワークショップでも結構複合施設とか、そういう提案がたくさん出てますので、その手法としては別に悪くないんじゃないかなと思いましたが、質問してみました。

生涯学習部長 ありがとうございます。

参加者 4 1番最初にですね、ワークショップで、1月29日のこの資料、最初に示されたなら、よかったなと思います。ここ数日で初めて目にしたっていう方も、ここにはおられますので、それから場所について、最初のワークショップで説明したとおっしゃいましたけれども、まなび周辺については、周辺道路についてちょっと難しい面があると。それから駅前構想については、調査研究が、予算がついてないので、メリットデメリットも詳しいことは、皆さんに伝えられないっていう説明がありました。それからまなびの今の説明ではまなびの構想については、周辺の道路について難しさがあるっていうことで、道路整備についてはまた、図書館整備とくっつけてここに説明されてますが、それとは別に、市の道路構想とはまたちょっと違うんじゃないかと思います。今でもまなびで申告の時期は、相当車の出入りがあっても何とかやりこなせて、事故もなくやっていられるんじゃないかと。それから駅前のなはんの利用の車、今でも大変混むことが多いんです。ということを考えますとこの立体駐車場にしても、とてもじゃないけれども狭いんじゃないかと思います。それからこのSPCという会社と50年間も仲よくやっていけるのだろうか。片一方は利益を生み出す会社っていうことで、市の施設とはまた別物だと思いますし、市の複合施設っていうことで早川先生の一等最初に皆さんにお配りしていただいた赤い冊子の中ではこの頃の

図書館では、複合施設は増えていますよっていうところがあったんですが、これは住宅賃貸住宅との複合施設っていうところは、今まであって、成功してる例もあるんでしょうか。そのところもお伺いしたいと思います。それからこのワークショップ終わった後に素案をつくるっていうことでしたけれども、この花巻市民の中のこの40人の中のワークショップを基本にとか、大きくとらえられてはまたこれは花巻市民を代表してるとか、そういう意見とか捉えらるっていうのは非常に狭いんじゃないかと思います。

生涯学習部長

説明の仕方でも問題があったとすればそこは確かに申し訳ないとおわび申し上げます。道路に課題があるけども、今日お示ししたとおりですね、歩道をつくりますので、歩道をつくれれば図書館よりも時期的にはちょっと道路歩道整備遅れるかもしれませんが、可能ではないかというような案ですので、そこはご理解いただきたいと思いますし、駅前の場所はですね、このSPCで住宅つくってっていうのにこだわってるわけではないです。仮に住宅がなくても構いません。駅前のこの場所、SPCで複合化をしなくてもこの場所で図書館がいいんじゃないですか、というのであればそれでも構いません。そういうアイデアをいただきたいと思ってるものです。ワークショップ全てで素案をつくってしまおうというわけではなくて、この意見を踏まえまして、素案をつくりませんが、再度その素案ができた段階で、また市民からの意見を聞きますし、パブリックコメントもしますし、いろいろ意見聞いていきたいというものですので、そういう進め方でいきたい。皆さんの意見だけでこう決めましたっていうことはしませんので、ご理解をいただきたいと思います。

参加者 5

今までのワークショップの中でも、みんなが使いやすいとか障がい者でも使いやすい図書館がいいなっていう案がとて多く出されていたんですけども、営林署跡地の場合と、駅の北側の案には建物の周りに駐車場がなくて、ちょっと離れているんですが、スポーツ用品店跡地のところも建物付近は4台のみということで、建物付近でぜひ使いたいであろう駐車場っていう部分がすごく少なく感じるんですけども、車椅子専用駐車場のようなものをこの案の場合には、何か代替として考えていらっしゃるのかどうかお聞きしたいです。

生涯学習部長

まだ具体的な配置までは考えてなくて、取りあえずはということなんですが、確かに駅のスポーツ用品店の場所ですと、すぐ近くにくっついて駐車場がつくれるか、あるいはその駅の駐車場のところにもつくれるかっていうと、図面で見るとスポーツ用品店のところは4台と書いてますが、ここはつくり方だと思っているので、そこは皆さんの意見でやっぱり10台とかですね、高齢者向けのもやはり

近くにあったほうがいいんじゃないかっていうのがあれば、それは具体化した場合に検討していきたいというものです。試しにやってるという現段階の案です。そこは柔軟に考えていただければありがたいというふうに思います。

参加者 6

まなび学園の体育館の場所のことなんですけれども、注意事項のところ、体育館の利用が高く解体するには市民の理解を得るというふうにあります。もし、体育館のところを希望した場合に、現在その利用されてる方々のためのどこかわりの場所ということは考えていらっしゃいますか。

生涯学習部長

現段階で体育館をどこかに建てるっていうのは考えてないんですけども、今使ってる体育館がかなり使われてはいるんです。90%ぐらいの利用率なんです。ここを壊して図書館、別な場所に体育館というのでご理解得られればそういう可能性もあります。ただその分お金がかかりますということですよ。やはり体育館つくるのでも、普通にこれぐらいの規模ですと5~6億、もっとかかるかもしれません、設備によりますけども。それぐらいはかかりますということを考慮していただければというふうに思います。

参加者 7

もしかしたら以前おっしゃったかもしれないんですが、先ほど身障者の方の駐車場の話になったときに、一関の図書館ですと1階に駐車場があるんですが、駐車場は1階に設けるという案は出なかったんでしょうか。

生涯学習部長

一関は駐車場が1階にありまして、2階に図書館がワンフロアであります。1階を駐車場にするという可能性はないわけではないと思います。ただし、本当に1番いいのは、1階から図書館になってるのが当然バリアフリーでもいいわけですよ。2階に閲覧室あるってことは必ずエレベーターか階段かで上がらなければいけないっていうのがあります。可能であればやっぱり1階から図書が置いてある。せいぜい2階っていうのがいいんじゃないかっていうのが、これまでの検討の経過です。かといって1階駐車場は駄目というわけではないので、その辺りも検討材料にいただければというふうに思います。

参加者 8

今日のテーマは場所ということでしたけども、一言で言うと、お金に関すること。どこでもお金がかかるわけなんです。この予算の決め方っていうのは、大まかに言うとどんなもんなんですか。そこだけちょっと教えていただければと思います。何か上限がないような話で、理想ばかり語るのではなくて、これぐらいでとか何かあるのであれば教えてください。

生涯学習部長

今までお話ししてたのは、立地適正化計画の都市機能誘導区域というところにつくれば補助金は入る、つまりその補助金の額がですね、10億5000万が最大です。2分の1ですので、そうすると、21億の事業費だと半分入ると。それ以上になると、市のお金で出していかなければいけない。つまり皆さんの税金などから出していかなきゃってことです。やはり、そうそうすごいものができるわけではないんですけども、できるだけ補助金、国からの補助をもらいながらやるというレベルですと21億ぐらいというふうに考えているものでございます。

参加者 9

前回のですね、ちょっと前にあった今の新花巻病院の建ってるところに建てるって計画あったと思うんですけども、そのときに有害物質が出るか何かで計画がなくなったようなことだったと思うんですけども、今回そういう有害物質とかが検出された場合っていうのはどのように考えてましたか。

生涯学習部長

今の新しい花巻病院の場所ですね、そこは旧厚生病院があった場所で有害物質が出てそれを除去して土を入れ替えるっていうのに数年かかったんですね。それは、今回花巻病院の場所で調査した段階では、この図面でいうと駐車場になる場所、南側に一部検出はされてるんですが、それ以外はないということなので、あとそこをもっと調査する必要はあるそうです。ただ、この建物部分にはかからないと思われるので、そんなに長い期間土の入替えとかには今の段階ではかからないのではないかとというふうに思われます。

参加者 10

先ほど部長さんのほうでは、この事以外にも考えられることがあったらっていうお話があったんですけども、体育館がすごく利用率が高いということで、市民の方たちにも理解を求めなきゃないっていうのはあるんですけども、この図書館を反対に東側のほうですね。図書館を東側のほうに持っていったらどうかっていうような構想は全く考えられなかったんでしょうか。体育館の反対側、東側のほうですね、そちらのほうに持っていったらどうかっていうことは考えられなかったのかなっていう気がするんですけども。いかがなんでしょうか。そこはどのように省かれたのかなっていうことをちょっとお聞きしたいんですけど。駐車場に入るんですけども、駐車場を全て使うのではなくて、駐車場の側のほうに寄ったっていうことは考えられなかったのかなっていう、今工事の建物が建ってますよね。あの辺あたりには考えられなかったのかなということです。

生涯学習部長

ずっと駐車場の東側のあたりということですね。ちなみに、今回このまなび学園前に東西に長く建ててますけども、これをもうちょっと東に寄せたらということですね。そのレイアウトは今回ですね、例えばそのほうがいいのでは

ないかっていうのであればアイデアとしていただいても構いません。ただ東に寄せますと、南北に今度延びてしまう可能性があります。そうすると、まなび学園の一部に日当たり悪くなったりとかですね、そういうところもあって、この場所に入れるにはこの大きさがいいのではないかっていう案がこれでございます。

参加者 11

私の立場は駅前立地派なんです、冒頭に言いますが、何で集合住宅を乗せるんだと思ってるんですよ。私はね、いろいろあれしてくれこれしてくれという気持ちはさらさらないんです。集合住宅を乗せるという事を取下げてもらえば、もうオッケーなんですよ、はっきり言えば。でもそれがなかなかね、出来ないような事情もあるようなんですが、先ほどどなたかご発言なされましたけどね。市民の理解が得られていないと。迷走してるのではないかとというご発言がありましたが、迷走しているとは思わないと。説明不足だと。説明が至らないと。たしか部長がおっしゃったと思いますが。私はね、決してそうじゃないと思って、何か大切なものが欠落しているんじゃないかなと思っているんです。話が長くなりそうですが、それは、市長はね、図書館を建設するという考えじゃなくて、多分ですよ、市街地活性化をする複合施設というのが頭にあるんだろうと思っています。だから話がかみ合わないんですよ。私は、図書館というのはですね、市民の学びを支える施設、学問のための場所です。大げさに言えば。平たく言えば教育機関なわけですよ。なのに、集合住宅を上に乗せようとかですね、市街地活性化が教育機関なのにそれよりも前に市街地を活性化するっていうこういう逆転したですね、ねじれた考え方が出発点にあるから、迷走するのも当たり前だと思っているんです。こういうことを部長や課長にぶつけても答えられるわけがない。だから、市長とかですね、副市長が来て、やっぱり我々の話を直接聞くべきなんです。来月の下旬に、市民向けの説明会があるそうですが、ここにはね、最低限副市長が来て説明しないとね、まとまりませんよこの話。絶対まとまらない。繰り返し申し上げますけれども、議論が混乱するだけですから、集合住宅を上に乗けるっていう部分だけでもね、取下げたほうが良いと思います。部長がはいわかりましたって答えられるわけないんですから、これはぜひ副市長とか市長に伝えてほしいんです。だって今日の説明資料だって、上に集合住宅を乗せない事で説明資料作ってるわけでしょ。ですよ。だからこれ議論、混乱することを防ぐためにも集合住宅がない形です、説明をお願いします。そのほかにも質問が14項目ありますが、これは省略します。

生涯学習部長

集合住宅は先ほども申しましたが、見直してもいいです。なくても構いません。皆さんからのご意見を踏まえますと集合住宅複合化っていう意見はないというふうに考えてます。あるいはあるかもしれませんが。それは見直しても構わない項目ですので、そこはご理解をいただきたいと思います。あと先ほど来申し

てました、市街地の活性化というのを含めて考えてきてそういう構想を出したわけですね。それをご理解はいただけたと思います。図書館もつくって活性化を図りたい、その上で住宅もあればいいんじゃないかっていう構想だったわけですね。ただし、今申し上げたとおり、それは見直しも考えているものですので、そこは柔軟にフラットにご意見いただきたいというものですので、よろしくお願いします。

参加者 11

本当に最後です。この構想はですね、私に言わせれば、原作脚本演出監督、上田東一です。皆さんはね、大道具小道具照明音響係なんですよ。我々はエキストラということです。いや、でもこのエキストラですね、最後までどういう図書館ができるかしっかり見届けますので、よろしくお願いします。

生涯学習部長

決してエキストラとは考えてませんし、皆さんの意見でやりたいというものですので、今日はまたいろいろご意見をいただければなと思ってますので、よろしくお願いします。

参加者 1

何か、言う機会がなくなるんじゃないかってちょっと危機感を持ってるのでここで言わせてください。今日が最後のワークショップだということで、私なりの結論、総括を、きちっと文書にしてみましたので、すいません、時間下さい。第5回ワークショップの総括を読ませていただきます。コロナ禍の中で続けられてきた、計7回にわたる長丁場のワークショップは、今日が最後になるわけですが、本来なら最終日のこの日が第1回目にならなければならないと思っています。というのは、ワークショップのたたき台となるべき市当局が最善案とする住宅付図書館の駅前立地構想がこちら側の要求でやっこの日の最終回に提示されたという事情からであります。順序があべこべなのです。しかし翻って考えれば、結果オーライではなかったかとも思います。高校生から高齢者まで、何らの束縛もなく、自由に夢の図書館を語り合えたのは幸運であり、こんな機会はめったにないのではないかと考えるからであります。その上での提案になりますが、この際市当局が最善案と称した構想を白紙撤回し、ワークショップで出された奇想天外で自由奔放な、市民の声をできるだけ反映した新たな構想をつくり直していただきたいと思います。体育館などとは違って、図書館などソフト面の比重が大きいプロジェクトは、場所や建物などよりも、まず理念を先行させるべきです。100年の計という視点に立って、ゼロベースで直してほしいと思います。さらに、人類は今、コロナパンデミックという感染症の脅威の中に、生きなければならない宿命を負わされてしまいました。ニューノーマル、新状態が叫ばれる時代の中で、図書館の在り方も従来のようなまちの活性化やにぎわい創出の観点だけから論じることは、もはや不可能だと考えます。私たちは今、パラダイムシフト、価値の大転換のただ中に身を置いていることを忘れてはならないと思

います。最後に次に市政への市民参画ガイドラインによると、市民の参画方法としては、①意向調査、②パブリックコメント、③意見交換会、④ワークショップの実施、⑤審議会その他の附属機関における委員の公募などのほかですね、市民会議の開催、を挙げています。ガイドラインは、これについて、図書館などの計画等の策定過程で市民の意見や考え方を反映するための涵養を組織し、市民と市の執行機関または市民同士が自由な議論により意見等を取りまとめ、提案をする方法を提言しております。ところが、市当局が10月1日付の広報間きで公表した行程表によると、新図書館の基本計画の策定に参画するのは、花巻市立図書館協議会の審議、パブリックコメント、市民説明会の3つの方法に限定され、今までやってきた私たちのワークショップは除外されています。一方で、今回のワークショップの開催や、議会側の図書館特別委員会の設置などによって、図書館に対する市民の関心が高まり既に考える会などの市民団体が活動しています。こうした動きは今後も広がっていくことが予想されます。したがって、今後の計画策定の段階では、こうした自発的な市民会議も参画メンバーに加えるように、担当課と十分検討していただきたいという要望を添えて意見とします。ありがとうございました。

生涯学習部長

はい。ありがとうございます。ワークショップはこれで終わりというわけではありません。皆様方にもご意見はお聞きしていきたいと思っておりますし、皆様方にも図書館のでき具合を見ていただきたいというふうに思っています。その中で、今日はその場所も含めながら、今までの皆さんの意見なども踏まえて、これまでの求める図書館、どういうふうな場所であればいいかっていうのを議論いただきたいと思ってるのでどうぞよろしくお願いいたします。ご意見としてお聞きいたします。

生涯学習課菊池

皆様、大変活発なご意見、それから感想等々をお寄せいただきまして大変ありがとうございます。ワークショップということでお集まりいただいておりますので、前半はこれくらいでということにしたいと思っております。大変ありがとうございました。なおですね、ちょっとこれから10分間ぐらい休憩をとりたいと思うんですが、意見交換、大変ちょっと時間押しております、ワークショップ、皆さんで意見交換していただく部分につきましては、最低でもやっぱり1時間ぐらいは取りたいなというふうに考えております。作業時間として1時間をまずとりたいなというふうに考えておりますので、終了時間若干押しますけどもご理解いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ここから10分間休憩の時間としたいと思っております。10時45分から次スタートしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(休憩)

それではですね、いつもの雰囲気に戻りまして、ここからはグループワークということで進めていきたいなと思います。よろしくお願いたします。実は今日もですねこういった形で各テーブルに参加者の皆さんと、それからスタッフ、花巻図書館職員というメンバーで座っていただいているということなんですが、図書館職員がいない班もあるんですけども、今日だけなんですけど参加したいという高校生の方の参加もいただいておりますので、その班はですね改めて自己紹介からまたはじめていきたいなというふうに思っております。時間押しておりますが、いつものとおり自己紹介から行っていきたいなと思います。1人30秒程度で、お名前、それから仕事とか学校、今日の意気込み、それから今日は朝ご飯で1番おいしかったものなんか発表してもらえばいいかなと思います。それから前回と同じメンバーですよというところは、前回同様ここ2週間でこんなことがありましたとか、これは誰かに聞いてほしいといったようなことを簡潔に話し合せて、発表してもらってというような感じで自己紹介の時間にしたいなと思います。5分くらいでいいでしょうか。それでは、スタートしたいと思いますお願いします。

(自己紹介)

それではですねまた、すいません、終わってないところもしかしたらあるかもしれませんが、進めさせていただきたいなと思います。自己紹介の時間は以上としたいと思います。それでは、今日の作業をですね、早速ですが説明していきなと思います。今日の作業は、皆さんで場所を考えるとということなんですけど、最後にしてとても重要な難しい部分のお話になるなと思いますので、ちょっと説明も長くなりますが聞きいただければなと思います。よろしくお願いたします。前回は、3回目に導き出してもらいました重点から、その重点に引き寄せながらですね、新しい図書館に必要なサービス計画とかサービスの内容を、大変細かい作業でしたけども、文章化するという作業を行ってもらいました。大変、それも参考になる資料というふうになりました。まとめたものは、皆さんのお手元にお送りしたというところでございます。もらってないよという方おりましたら、資料を準備しておりますので、お知らせをください。前回まとめたものもですね、各班のテーブルの上に、置いている状態ということになってるかと思ひます。そこで今回ですけども、先ほども花巻市が検討してきました建設場所についてご説明をしたというところですが、皆さんにも建設場所について考えていただくということなんです。皆さんで、これまでたくさんのアイデアから、重点サービス計画まで考えていただいたわけですが、これまでの考えが1番発揮されるのはどこなのか、その機能を生かすためには、情報がたくさん手に入るためには、あるいは高校生、お母さん、それから子供たち、高齢者、障がい者も含めてですね、どこが

いいのか、皆さんがこれまで話し合ってきたものを基本として、これまでのものを共通の土台としてですね、場所を考えてほしいという作業をしていただきたいというものです。それから、ここもちょっと大事なかなと思いますけども、基本構想の整備方針の中に、中央図書館としての機能という部分がかかれてあります。今の花巻図書館も中央機能ということでは持っているということにはなっているんですが、やはりもともとの花巻地域の図書館というところですので、なかなかそこまで追いついていないというのが現状なのかなというふうにも感じております。花巻市としましては、その中央の図書館の機能、他の3館とか学校図書館とのネットワーク、花巻市全域に目を向ける考えも必要なんではないかということも感じております。中央図書館ということですので、高度なレファレンスができたり、あるいはシンボリックな存在にしたりとかですね。中央図書館としての機能を形にするためにはどんな場所ならいいのかということも、花巻としては考えていきたいというふうに思っております。皆さんの考えと、そういった考え合わせながら、場所について考えていきたいなと思います。それから具体的な作業になりますが、まずは、前回考えていただいたサービスの中身、どういったものがあつたのか、最初にちょっとおさらいの時間としてざっくりばらんに、こんなこと出ましたねというのを話し合いをしてもらいながら、ちょっとスクリーンにも書いてますが、5分程度って書いてますがちょっと5分も必要ないところもあるかもしれません。見ていただくということになります。そのあと、サービスが生かせる場所ですけども、何も話し合いの土台がないとちょっと進めづらいというものがありますので、例えばですけども、場所を考える上での土台という1つの考えなんですけど、先ほど説明しました、まなび学園周辺、それから駅前周辺、それからそれ以外も考えられるんじゃないかということでその他もですね、考えてもらっても結構ですということで、その他についてはどこでも設定オクケーです。自由に考えていただいていいと思います。その3つなんですけど、実は、いざ場所って考えてみると、とても難しくてですね、昨日、おとといと我々スタッフの中でもうちょっと考えてみたということもあるんですがちょっと難しいなというふうに感じております。提案なんですけど、3つの場所で例えばなんですけど、メリットデメリットに分けて考えてみてはどうかという提案です。前回のサービス内容の一つ一つから考えていただいてもいいと思いますし、このサービス計画だったら場所が出しやすいねというものもあると思いますので、そこから考えてもらうというのもいいと思います。もしかすると、班によってはメリットデメリットでは分けられないというところも出てくるんじゃないかなと思いますので、そのときには、別のまとめ方ということももちろんOKにしたいと思っております。ちょっとなかなか難しいんですけども、そういう形でまとめていただければ嬉しいなというものであります。いつもどおり机の上には、模造紙だったり、付箋用紙などありますので、それらを使っていただきながら、今回は1人で考えるという時間はなくてですね。いきなり話し合いから始めていただこうかな

とあってまして、話し合いから場所について考えてもらいたいなと思っております。それから、ちょっとここが重要なのかなと思いますけども、先ほど部長の市川からも申し上げましたが、ここが重要かと思いますが、このワークショップで最終的に場所はここですと、結論を出してくださいというものではありません。うちの班は結論が出ましたというのは、それはそれで全然オッケーなんですけど、話し合いの中で様々なメリットデメリットがこのように出されましたという結果があればですね、その話し合いの結果があれば、今回のグループワークについては行った意義があるんじゃないかというふうに私たちは考えております。無理に結論ここですっていうふうに出さなくてもいいということで考えていただければなということになります。ちょっと説明内容としましては、ちょっとざっくりした感じになってしまいましたけども、それぞれの班の個性を生かしていただきたいなと、そこを期待しておりますので、ここからそうですね、11時45分ぐらいまで取りあえず目安にしますか。11時45分を目安にしたいと思いますけども、そこまでということで、皆さんで考えていただきたいというふうに思います。途中休憩はさんでいただいても構いません。11時45分ぐらいまで作業としたいと思います。よろしいでしょうか。あと途中で早川先生からもお話あれば、はさんでいただくような感じをお願いいたします。それでは、作業時間としたいと思います。よろしく願いいたします。

(話し合い)

生涯学習課菊池

11時45分まであと10分間ぐらいなんですけど、何とかありますかね、ちょっとやっぱり時間足りないというところありませんか。ちょっと無理というところもやっぱりありますので、さらにさらにちょっと10分間ぐらい延ばしたいと思います。11時55分まで延ばしたいと思います。

(話し合い)

それでは、時間が11時55分となりました。大変皆様お疲れさまでございましたが、作業時間は、一旦ここまでとさせていただきたいと思います。ここからの時間は各班から、どのようなものが出たのかということで、発表をしていただきたいというふうに思います。発表の時間としたいと思います。

2班

それでは2班発表いたします。私たちの班は、駅前がいいんじゃないかということでメリットのみを訴えます。ですからデメリットはありません。それから、

まなびとその他はありませんということで、割愛いたします。2班、この駅前が何がいいかというと、利便性アクセスがいいことです。私、花巻ですから、石鳥谷の方もおられますが、駅利用者、特に学生、高校生なんかには利用しやすい。北高、東高、南高、皆さん駅から通う方が多いので便利だということです。それから高齢者の方はバスの利用ということでターミナルということで、アクセスがしやすいことが挙げられます。あと、なはんプラザがあります。ここでは音楽スタジオとかホールがありますので、こういったところと連携をすることによって、図書館本来のスペースが確保できるのではないかと思います。それから、グランシェール、あと伊藤食堂さん始めとした食事ができる施設もあり、1日中過ごせるというメリットがあります。それから情報発信ということですが、特に花巻における賢治ファンに対応するために、夏場ですけれどSLが見られる1番のスポットが図書館のところから見える、警笛が聞こえるということになります。それから、様々なイベントを行うための参加しやすい場所であることが考えられます。何よりもまちの顔になること、花巻らしさということで、特に旅行者の方が花巻駅に来ることによってワンストップで様々な情報が得られるということになります。それからWi-Fiの環境、先ほどの旅行者に使いやすいところになります。といったことを踏まえまして、情報発信の意味では多くの偉人をワンストップで見ること、知ることができるということになります。それからその他としては、Uターンしたり、戻ってきたときに、花巻駅に来たとき、ほっとできる明るい場所になってほしいということもあり、花巻を明るくする意味で、新しい図書館を明るい施設にしてほしいということになります。それから万が一ですけれども、災害が起きたときの避難場所になり得るだろうということで、アクセスのしやすさからも、花巻駅前ということを考えました。あと今花巻市で計画されてます、地下道を閉鎖しての駅の橋上化によって、西口からのアクセスが便利になるということも踏まえておきたいと思います。ということを含めまして、駅前に建てたほうがまちの発展につながりやすい、将来の花巻の未来につながるだろうというふうに考えました。以上、発表終わります。

生涯学習課菊池

2班の方から発表いただきました。駅前でメリットのみということで発表いただきました大変ありがとうございます。次5班お願いします。

5班

私たち5班は話し合った上で、どの場所にもメリットとデメリットがそれぞれあって、どこが1番最善だっというのは決まらなかったんですけど、ただ、その上で、まなび学園周辺については、メリットは駐車場が広くとれること、まなび学園行事などとの連携がとれることが挙がりました。デメリットとして挙げられるのは、道路が狭いこと、そしてふらっと立ち寄る人の利用がないことが挙げられます。そして理想的な、ちょっとこういう案も出ましたみたいな感じで、どうせだったら、まなび学園壊してしまっって新しい図書館を建てて、まなび学園

と一緒に機能をまとめるっていうのもありかなみたいなのも思いました。結局なはんプラザとまなび学園の機能が重複してるっていうのもあるので、そういう案が出たっていう感じです。次は花巻駅東口の方の案です。メリットとしては、やっぱり駅なのでふらっと立ち寄れる、観光客や電車待ちの人なんかもふっと来てくれるように、いろんな人が来てくれるんじゃないかな。あと若い人たち、いわゆる学生さんなんかの行動範囲のうちにあるので、やっぱり来やすいところはあるんじゃないかなって話になりました。ただ、デメリットとしてやっぱり駅の東口の方は坂道の上にあるということで、まず行きづらくて、あと土地が狭い。坂があって崖があって道路も狭いですし、アクセス用のための道路も狭いですし、あと駐車場をつくる場所もやっぱり現状の駐車場では足りないので、立体駐車場でしなきゃいけないというくらいに狭さを感じる場所があるということです。なので、できれば駅も東口じゃなくて西口のほうがいいんじゃないかなということで案が広がりました。本日その他っていう項目発言してってことなのでその他一生懸命考えさせていただきました。そもそも補助金ありきで場所が限定されるっていうスタート時点を考えないで、ここがいいなっていうのを挙げさせていただきました。西口やっぱり幹線道路もそろってますし、平地が多いので、そっちのほうがいっぱいの人によかろうとは素直には思ったので、西口の公園、電鉄公園というのかな、その辺の公園、もしくは西大通りの消防車から駅までの空き地、民地だと思えますけども、広大な敷地開いてみえるので、その辺を考えるのが自然じゃないかなと思いました。あと大堰川プロムナード、上町から花巻町にかけて、きれいな川沿いの通りあるんですけども、多分ほとんどの人通ったことないと思います。あそこすごくきれいに整備されてるので、例えばどっか海外で川沿い図書館とって、川沿い歩きながら見る図書館もあるということも聞いたので、素敵だなと思いました。あとは文化会館と一体化してやる。文化会館もしばらく使うと思いますけども、文化会館と一緒に図書館やるとか、まんぷくの跡地とか、エセナ跡地、花巻中央公園整備したばかりですけども、あそこで図書館やるのもいいんじゃないかと思います。あとは、ここ花巻市交流会館、ここを使って飛行機が見える図書館、そういったコンセプトも素敵かなと思いますし、なはんプラザ、なんプラザで図書館やっちゃ駄目なかなと思いますね。といったところで、その他のほうがいろいろ夢のある話ができ私は楽しかったですけども。まず5班の意見はこういうふうになりました。以上です。

生涯学習課菊池

どうもありがとうございました。はい。5班の発表いただきました。楽しかったということですので、よかったなというふうに思っております。ありがとうございます。1班の発表をお願いいたします。

1班

それでは1班の発表をさせていただきます。1班は班同士の話でどちらも、いいねという話になったので、まなび学園、駅どちらのメリットデメリットもたく

さん挙げたんですけど、ちょっとまとめる時間がなかったので付せんのまま読み上げます。まず、駅のメリットということで観光案内にも役立つ、アクセスがよい、駅周辺の駅利用の人が集まる。地域の企業のセレクトショップなど、駅に使い近いほうが良い、就業体験やチャレンジショップするから、若い人が集まりやすい。屋上をつくって上からSL銀河などを見れるようにしてほしい。塾が幾つかあるのでわからなかったら調べものをして行けるように、駅のほうがいいという、あと夜も周辺が明るいというふうなことなど、いろいろとメリットが出ました。デメリットのほうでは、駐車場が狭い。駐車場と図書館が遠い。駐車場が少ない。あと立体駐車場が例えば結構年配の方とかが利用する場合はちょっと危ないんじゃないか、作りにもよるんでしょうけども屋根とかがないのであれば、地面が凍ってしまってちょっと怖いんじゃないかなっていうふうな案も出ました。次、まなび学園に行きます。まなび学園のメリットとしまして建物の構造なんですけども、伐採した松を新しい図書館に活用できるのではないかと。花巻城が近い、敷地が広くて良い、花巻城跡などを散歩しながら散歩できる歩道を整備すれば、歴史を感じられる場所になるのではないかとという話も出ました。あとは、イトーヨーカドーが近いから寄り道気分で立ち寄れる、行くことに抵抗を感じない。駐車場が立体ではない。公園、敷地が広いので、マルシェとかイベントが出来そう。まなびでの生涯学習の機能との連携というお話が出ました。デメリットとしましては、建物が奥にあるため行きづらい。花巻病院のほうですね、建物が奥にあるから行きづらい、夜になると夜道が暗くなるので、歩きづらい怖い。道路が複雑、道路を変えるのに時間がかかる。周辺の整備に時間も金もかかるので、オープンが遅れるという意見が出ました。その他の項目を使わせていただきました。ヨーカドー前の駐車場側の空き店舗の敷地が広そうですが、バスのアクセスもいいし駅にも近い。ヨーカドーの近くにある潰れたお店をもっと活用したい。最後は、1番の意見、場所はどこにしろ早いオープンを望むという、駅にしろ、まなびにしろ。それぞれ、駅につくるにしてもまなびにつくるにしても、コンセプトが全然違うふうになるので、どっちのよさもあると思うので、できれば2つ欲しいなっていうのが、最後の1班の意見でした。私は青雲高生で駅をたくさん使うので、駅のほうがいいかなと思ったんですけど。駅に図書館ができるにしろまなびに図書館ができるにしろ、どっちにしろ移動距離とかも余り変わらないので、あとそのコンセプトも違う図書館は見たいと思ったので2つ欲しいなと私は思いました。以上です。ありがとうございました。

生涯学習課菊池

はい、早く欲しいな。それから、2つ欲しいなと欲張りなご意見をいただきましてありがとうございます。7班お願いします。

7班

7班では絞ることが出来ませんでした。それで、まなび周辺、それから駅周辺、そしてその他ってということで、4つ出てきた部分について、それぞれメリットデ

メリットのほうを、紹介していきます。まずまなび周辺ですけれども、今まで出てきたこととほとんど同じです。広いし緑があるし、生涯学習、それからこどもセンターとの連携が図れる。何より静かだという環境的な面でのよさがあります。デメリットは、ちょっと駅から遠い。それから、周辺の道路が複雑で狭いのでなかなか行きにくい面がある。それから、公共交通機関の特にバス利用がちょっと今の段階では難しいのではないかということで、まなび周辺についての意見が出ました。駅周辺での意見で、メリットとしては、前回のワークショップで図書館の開館時間を6時から23時までということだったので、公共交通機関を使って利用しやすいという点がありました。また、駅に近いことで、駅にある待合室などで勉強したい人が本来の目的で使うことが出来ないという意見があって、駅に近ければ、学習スペースができるとできるだろうという意見が出ました。また、駅の近くということで、たくさんの人が集まることが予想されるので、その中での交流もできるとなりました。また、この後の話で出てくると思うんですが、なはんプラザを活用することで、私は4番の場所に図書館を建てるのがいいと思ってるんですけど、その4番の位置となはんプラザを活用して、2階などに、連絡通路などを設置して、なはんプラザと図書館をつないで利用しやすいようにするとよいと考えました。私は駅周辺の4番と5番で、5番がいいと思いました。その理由が、デメリットにあるんですけど、駅周辺のデメリットとして騒音が考えられます。駅には電車が通っていて、その騒音で本読むのに集中出来ないんじゃないかっていうのがあるので、その4番と5番の中で、5番の方が電車から遠いので、私は5番がいいなと思いました。そしてデメリットとして駐車しにくいというのがあって、駅周辺は駐車スペースが少ないので駐車しにくいと考えました。そして緑がない。今の状況の新型コロナから考えると、密集した空間、駅周辺で人が密集した空間というのは今の時代には、合わないのではないかという意見がありました。駅周辺のところでなはんプラザっていう言葉が出てきてますけれども、今まで前回前々回ってのはじめのときから、どんな施設が欲しいですかっていう皆さんとの話し合いの中で、防音室も欲しいよね。勉強するスペースも欲しいよね。ちょっとした音楽会ができるようなホールも欲しいよね。そういうお話もたくさん出てましたけれども、その機能がなはんプラザにあるんじゃないかなっていうふうに思っています。なので例えば、連絡通路で一体化させて、一緒に図書館は立派な図書館を建てていただきます。そこにそういう既存の施設を有効活用して、一体的に利用できるっていうような、エリアが可能ではないだろうかというところもちょっと話に出ています。緑については、たくさん検討していただいて、緑も生んでほしいなと思ってるということです。それではもう一つの案です。その他で、なはんプラザの件と現図書館の跡2つありました。なはんプラザは今話あったんですけど、私が出したのは、なはんプラザをメインにして、そこに図書館の機能を移転すると。メリットデメリットは駅周辺と大体同じで、メリットはなはんプラザは有効活用されてないんじ

ないかと思って、その有効活用。あと予算、建設費が浮くのではないかと。増築とか構造的な補強があるかもしれないけど建設費は浮くと。あとは駅が情報発信基地としての機能を果たせる。あと、新築だと5~6年後の話になるんですけど、移転すれば今まで出てきた皆様の図書館でできることをすぐ実現できるんじゃないかという、そういうメリットがあると思います。デメリットは広さがちょっと狭いかなと、あと築30年ぐらいなのでちょっと古いかなというのがあります。あと、現図書館。今の図書館の横にある花西振興センターが今、取壊しになってるんですけども、その部分も含めて、少し広いスペースで考えられるかなというふうな案が出ました。ただ、これについてのメリットデメリットは、メリットはやはり環境のよさということで、誰でも足を運べるというよさがあるでしょうし、デメリットはアクセスの悪さ、というふうなことで考えられるなということが出ました。以上です。

生涯学習課菊池

はい。駅前、それからまなび、なはんプラザの活用から現図書館のことまで幅広く触れていただきました。ありがとうございます。6班お願いします。

6班

はい、6班の図書館どこにつくったらいいかという場所考えました。6班はまなび学園の体育館の場所、ここがいいんじゃないかというふうに考えました。どういうことを重点にするかってことで、目的を制限せずにマルチに活動できるっていう、これを重点として6班考えまして、それを達成できる場所はここだろうと。メリットとしては十分なスペースがあるということで、もともと広い駐車場もあります。広い駐車場になるし、しかも自分たちの班では、いろいろ利用できるギャラリーとかあとはその広場として使える場所が欲しいって話があったので、もともとまなび前にも緑地化されてる広場があるんですけども、例えば皆さんに送られた資料の中で、体育館潰して、例えば図書館つくったと考えると、現況みると体育館の下って今砂利で駐車場になってるんですよ。あそこの部分も、広場に含めてもうちょっと延長できれば、十分なスペースを確保して活用できるんじゃないかなということ、十分なスペースっていうところでは、ここはいいんじゃないかなと思いましたが、あとは隣まなび学園があるので、既にもうまなび学園の機能が備わっているんで、その機能と併用して使うっていうところが、そこと連携できるっていうことがあり得るんじゃないかなということ、ここにしましたし、あとは市役所とか、ちょっとルートがあれですけどイトーヨーカドーが近いっていうこと、ここは例えばお子さんいらっしゃる方とか、図書館に来て、図書館だけでいいんですけど、帰りにお買い物行ったりとかっていう、別のことも済ませられると1番いいなっていうのがあって、この距離的な近さっていうのも考えましたが、あとはさっき地域の、まちなかの活性化っていう話がありましたけども、大体まなび学園って駅とまちなかの大体真ん中ぐらい、ちょっと駅寄りですけど、にあるので、その中継地点、真ん中の

活性化につなげるための一つの拠点にもなり得るんじゃないかなということ
を考えました。ただデメリットとしては、体育館を潰すことになるので、もともと
体育館使ってる人が困っちゃいますよね。なので、どうしようかってちょっと考
えたときに、病院の跡地に新設で新しい体育館つくっちゃえばいいんじゃない
かっていう話が出ました。航空写真見ると、もう天井錆びてたりするのでちょっ
と危ないんじゃないかって話もありましたし、あとはデメリットとして、アプロ
ーチできる道路が狭いということですね、ファミリーマートから今まなびに行
く道路って狭くて、橋のところなんか歩いてると怖いですよ。すぐそばが車通る
んで、道路狭いのでそういったところ、安全性っていうところも向上できればい
いかな。そこが今のところはデメリットだなんてのありまして、あとは、一応そ
こに図書館出来たとしても、合同庁舎があるのでちょっと見通しが悪いんじ
ゃないかと。じゃあ申し訳ないけど、合同庁舎は取り壊させてもらって図書館の上
にくっついてくださいという話もあり得るんじゃないかなという、妄想ですけ
れども、そういったことを考えまして、まなび学園の体育館の場所というところ
を選びました。その他の場所も考えまして、結構皆さん同じことを考えてるんだ
なって思ったんですけど、ヨーカドーの東側にある眼鏡市場のあるあそこのホ
ーマックの跡地のところ、あそこ全然使われてないからいいんじゃないのかな
と思って、さっきお買物ができるっていう面では、寄って買物して帰れるって
いうのがあるので、ルートとしてはいいんじゃないかなとありましたし、あとは業
務用スーパーの北側にある、材木町の周辺ですね。いつも祭りのときとかには駐
車場として使われてる、あそこ年に数回しか使われてないんで、だったらもう、
あそこ年に数回しか使われないうんだったら、あそこいつも使える場所になれば
いいんじゃないかってことで、そこも有り得るんじゃないかってありましたし、
あとは宮沢賢治のふるさとということもありまして、イギリス海岸が見える詩
の森公園ってあるんですけども、その周辺すごい見晴らしがよくていいんじ
ゃないかなと。川の流れる音が聞こえる図書館って素敵じゃないですかって
いう話もありましたし、あとはここの交流会館、さっきお話ありましたけど、すぐ
近くで飛行機が飛び去っていく、それが見れる図書館っていうのおもしろい
んじゃないかってのは、一応場所の候補としては挙げられました。そしてうちの班
にはデザイナーがいますので、あとデザイナーにちょっと案を話してもらいま
す。デザイナーじゃなく絵書きなんですけども、毎回ずっと妄想してまして、今
までももちろん内容のことを皆さんワークショップでしゃべってて、今日は場所
まで来たんですけど、建築っていう事については全然皆さん考える時間がな
かったかなと思います。最近の新しい図書館ってのはやっぱり、有名か無名かわ
かりませんが格好いい建築っていうのがありますよね。高知県の山の中によし
はら雲の上図書館という隈研吾が建てたやつとか、隈研吾とは言いませんけど
も、やっぱり設計に対しても大分気を使っていたきたいなと思います。プロポ
ーザル方式とかコンペとか何でもいいんですけど、岩手県内にある設計屋さん

に頼むとかじゃなくて、やっぱり花巻のこの図書館を見に行きたいって日本全国とか、世界の人が思うような、設計の建築をぜひやってもらいたいなと思って、このワークショップでそれを検討する時間ってのはありませんでしたので、私からそういうふうにお願ひしたいと思います。6班は終わります。

生涯学習課菊池

はい。建築のほうまで触れていただきましたありがとうございます。参考にさせていただきます。3班お願いします。

3班

3班もどこがいいかっていう一つの結論には至らなかったんですけど、まなびと駅前と、あとその他として新興跡地、東公園のところ、3つで考えました。まず東公園のメリットとしては、由緒ある場所であること。あと花巻城跡地、桜並木があって、あと宮沢賢治の散歩道だったこと。あとは元は市の所有地だったこと。周辺の敷地が広くて緑が多いことが挙げられました。デメリットとしては、交通アクセスの問題があること。あとは、民間所有者が多いということが挙げられました。次に、花巻駅前周辺で考えたときに、メリットは電車利用者、特に学生が利用しやすいってということと、あとは市外の利用者、外部の人の利用も駅前だとしやすいんじゃないかなってということと、あと宮沢賢治の本を観光資源とするってなったときにアピールがしやすいってということ。あと、それに外部の人たちが来るってということによって多様性が生まれるってということが挙げられました。デメリットとしては、車での利用が難しいってということ、駐車場がちょっと少ないってということ。1階の空間を利用するのが難しいということと、あとはコロナで3密を避けたりとかソーシャルディスタンスを取るということが難しいという問題があること、あとは市街地活性化の前提が変わっているということ。あとはコストパフォーマンスの排除が挙げられました。最後に、まなび学園周辺で考えたときのメリットが、スペースは広いということと、いろいろな活用ができるってということが挙げられました。デメリットとしては、病院跡地のため建設に時間がかかるということと、立地配置が難しいということと、道路の問題があるということが挙げられました。メリットとデメリットいろいろ考えたんですけど、でも最終的にどこに建てたとしても充実していて本当に行きたいと思える魅力ある図書館なら、よほどでない限りはどこでも行くよなっていうのが正直なところ。逆に魅力がなかったら近くてもいけないと思うし、やっぱりどこであろうと本当に行きたいと思えるかどうかってのが大事だと思います。あとは、お金も続くことが大事だよなって意見が出ました。以上です。

生涯学習課菊池

はい。3班さんありがとうございました。最後ですが、4班の発表をお願いいたします。

4 班の話し合いの中でも、他のグループの方そうであったように、やはり私たちの考えた理想の図書館っていうのは、どこの場所でも、大きくまなび学園と駅前
の立地でも、実現はできるよねっていうお話になりました。駅前につくった場合とまなび学園につくった場合、どういったメリットデメリットがあるのか、最終的にどちらか一方採用するってなったときに、このデメリットに対してどう
いうふうに対応してほしいのかっていうことをしっかり盛り込んでほしいということ
でまとめました。駅前の案からお話しします。駅前の立地っていうことの
メリットはまずやっぱりアクセスがよく人が集まりやすいっていうこと。あとは電車
通学通勤の人が利用しやすいということで、より広い地域の方が利用し
やすい場所になるっていうことが挙げられます。また、宮沢賢治の資料を収集して
地域の情報拠点にするということを考えてときにも、観光客の方が利用し
やすい立地であるということはとても重要であると考えます。デメリットとして、
交通量が多くて危険ではないかということが挙げられました。例えばなはん
プラザのイベントがあったときに、今も駐車場大変混雑するということがあり
ます。ただこれは表裏一体で、裏を返せば、なはんプラザとの連携をとりやすい立
地であるということが考えられます。また子供が 1 人で飛び出しなどの危険性
があるんじゃないかということで、ここはやっぱり交通規制とか整備の工夫が
必要であるかなと思います。また、まなび学園周辺と比べて緑が少ないんじゃない
かという指摘がありました。ここに関しては、屋上庭園など建築で対応するこ
とができると思います。また、最初から完成された緑の環境ではなくて、これか
ら地域の皆さんとつくり上げていく自然の環境というのがあってもいいのかな
と思います。ただ、騒音題、車の交通が多かったり、電車、貨物電車の騒音がち
よっと気になるんじゃないかということがありました。ここに関してはやはり
建築の時点で防音機能を強化した建築にすること、また施設内の配置、閲
覧室を線路から離れた場所に配置するといった感じで、工夫することができる
のではないかと考えます。では次に、まなび学園のメリットとデメリットをご紹
介しますと、メリットでは、緑が多くて自然を感じられるという意見が出まし
た。実際に秋であつたりとか、鈴虫などの虫の声などを聞きながら読書できる環
境ができるんじゃないかなあと思いました。また、まなび学園が近いことで、生
涯学習施設の方だったり、こどもセンターだったり、学習スペースのほうと連携
がとりやすくなるのではないかという意見も出ました。また、駅前と比べて、静
かで過ごしやすい環境がつくりやすいのではないかと思いました。また、花巻大
空襲であつたり、昔の学校であつたり、宮沢賢治さんなどの先人たちのまなび学
園周辺に、そのようなお話があるということもグループ内で、私お話を聞いて、
その場で図書館ができるまで、エピソードだったり、そういうお話が、その場
のエピソードがあることがすごくいいなと思ったので、歴史のある土地もメリ
ットだと思いました。反対にデメリットとして、周辺が暗くて夜間が心配という
意見が出ました。解決するために、街灯を増やして明るくすることで、安全な環

境をつくれるのではないかと思いました。また、道路が入り組んでいて、通行が不便というデメリットがあります。そのため、交通整理であったり、一方通行をうまく活用した道路の活用であったりすることで解決するのではないかと思いました。図書館を利用する中で、学生の方などもいらっしゃると思うんですけど、実際に就職や進学などで県外へ行ってしまう方も多くいると思います。そのような方々がまた戻ってきて、やっぱり花巻っていいところだなと感じられる。近づける図書館になるといいなと思っています。メリットもデメリットも素敵な案が出たので、ぜひ活用していただければと思います。これで4班の発表終わります。ありがとうございました。

生涯学習課菊池

はい。限られた時間の中でしたけども、たくさん場所についてメリットやデメリット、それからまなび学園、駅以外の部分についても、たくさん考えていただきました。大変ありがとうございます。出されました意見、十分に参考にして、これからの図書館づくりのほうに進めていきたいというふうに考えております。大変ありがとうございます。それではですね、発表まで終わりましたので、ここで、早川先生からご講評いただきたいと思います。お願いいたします。

生涯学習課菊池

早川先生、ありがとうございました。ワークショップ全体を通じてのご講評ということで、いただきました大変ありがとうございます。早川先生には20代・高校生のときのワークショップからアドバイザーとして、ご出席をいただきまして、的確なアドバイスをたくさんいただきました。まさにこのワークショップには欠かせない、お守り的な存在だったなというふうに私は思っております。参加者の皆さんはじめ私たちスタッフをしっかり導いていただきました。改めて感謝申し上げたいと思います。皆さん拍手で感謝していただければと思います。大変ありがとうございました。最後にご提案をいただいています。これで最後なんですけど、このワークショップの最後に、みんなで記念撮影しはどうですかと先生に提案していただいているんですけど、そこまで皆さん時間いただけますか。では終わりには記念撮影をやりたいと思いますのでお願いいたします。それでは、ワークショップは以上、これで終了ということになりますけど、今後、花巻市が行ってまいります図書館整備に関するスケジュール、今後やろうとしている部分でありますけど、今回のワークショップの結果をまとめまして、今やろうとしていることは11月の下旬から12月の中旬にかけて、市民説明会開催できればいいのかなということちょっと準備を進めたいと思っていますし、基本計画の素案づくりのほうにも、作成につなげながらですね、今回このワークショップにご参加いただいた皆様にも、もう一度集まる機会といいますか、こういう感じにまとめましたよというのを聞いていただいて、意見交換するような機会を設ければい

いのかなということも考えております。ということで、また皆様にはこのワークショップだけではなくて、これからも新しい図書館の整備について、いろんな場面でご指導いただく機会があるというふうに私たち思っておりますし、ご協力いただきたいなということを思っておりますので、その際にはお願いしたいなと思います。改めまして今回、ご参加いただきましたことに厚くご礼を申し上げます大変ありがとうございました。最後の事務連絡であります。アンケート用紙、配布してございます。今回のアンケートですね、両面刷りでちょっと豪華版のアンケートなんですけど、何とか時間をいただいて、ご記入をお願いいたします。それから、アンケートの提出と、ネームプレートの回収は行います。それから、朝まなび学園から送迎の車で来た方は、帰り時間、今日ちょっとかかりますので、15分後ぐらいですかね、12時55分出発とかにしたいと思いますけどいいでしょうか。おそろいであればすぐに出発するという形をとりたいと思います。車につきましては正面のほうに準備いたします。それでは図書館ワークショップ、みんなではなそう未来の図書館、一般編ということで、お集まりいただいておりますが、以上で全てのプログラムを終了いたします。皆様大変ありがとうございました。